

第5回厚生常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成28年5月25日（水）午後1時0分
- 2 閉会日時 平成28年5月25日（水）午後1時42分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
5番 丸山 明君 7番 原田 素代君 11番 福木 京子君
13番 岡崎 達義君 15番 小田百合子君 17番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 内田 慶史君
市民生活部長 新本 和代君 保健福祉部長 石原 亨君
保健福祉部参与 岩本 武明君 赤坂支所長兼 正好 尚昭君
熊山支所長兼 入矢五和夫君 市民生活課長 吉井支所長兼 荒島 正弘君
市民生活部参与 市民生活課長 作本 直美君 協働推進課長 塩見 誠君
環境課長 黒田 靖之君 社会福祉課長 国正 俊治君
子育て支援課長 国定 信之君 健康増進課長 谷名 菜穂子君
介護保険課長 藤原 康子君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 事 藤井 千恵君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○委員長（原田素代君） 定刻になりました。

ただいまから第5回厚生常任委員会を開きます。

開会に先立ちまして、友實市長の御挨拶をお願いします。

○市長（友實武則君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 委員の皆さんこんにちは。

本日は、本当にお忙しい中、第5回の厚生常任委員会をお開きいただきましてまことにありがとうございます。

本日の会議でございますけれども、事業の進捗状況、そして来る6月の定例市議会に上程させていただきます補正予算等の説明をさせていただきます。

その他の項も何点かございますので、よろしく協議をお願いしたいと思います。

なお、申しわけございませんけれども、この後私所用がございましてちょっと中座をさせていただいて、また戻ってきて委員会に出席させていただきたいと思っておりますので、御容赦をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

それでは、協議事項に入ります。

まず、平成28年度事業の進捗状況についての執行部からの説明をお願いします。

○市民生活部長（新本和代君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） 新本部長。

○市民生活部長（新本和代君） それでは、市民生活部のほうからお願いしたいと思います。

協働推進課のほうから第3次男女共同参画基本計画の策定について御説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○協働推進課長（塩見 誠君） はい、委員長、協働推進課、塩見です。

○委員長（原田素代君） はい。

○協働推進課長（塩見 誠君） それでは、厚生常任委員会資料の市民生活部の冊子をごらんいただければと思います。表紙を1ページはぐっていただきまして、1ページのほうに第3次男女共同参画基本計画の策定ということで御説明をさせていただきます。

まず、1番目にこの計画の趣旨でございますが、この計画につきましては男女共同参画社会基本法などに基つきまして、男女共同参画の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るためのものであります。第2次の基本計画につきましては、今年度で期間のほうが満了を迎えますので、来年度へ向けまして第3次の基本計画を策定するものであります。2番目に第3次の計画につきましては、平成29年度から33年度までの5カ年間で予定をさせていただいております。3番目の計画の位置づけであります。今後市民・事業所の意見といたしましてアン

ケートを実施したり、それから男女共同参画推進審議会という組織もございまして、そこからの提言等を内容に反映させるもの、そして2番目の黒のぼつの中にありますように、市の総合計画であったり、第2次の男女共同参画の基本計画との整合性を図ると、3番目に国、県のほうで第4次の計画が既に策定をされておりますので、そのあたりの計画との統一等も図ってまいりたいと思います。下に2つございますDVの防止法及び女性活躍推進法にかかわります項目につきましても、今回第3次の中に盛り込む予定にいたしております。

先ほど説明しましたアンケートにつきましての概要といたしまして、4番目に書いております。今後6月6日から6月20日間の期間におきまして、アンケートのほうを実施を予定をいたしております。大きく2つのアンケートございまして、まず市民向けアンケートにつきましては20歳以上を対象といたしまして、2,000人を無作為に抽出をさせていただきます。そして②番といたしまして、事業所向けアンケートといたしましては、従業員10名以上の事業所といたしまして、現在予定しておりますのは、82事業所を予定をさせていただいております。

最後に策定の今後の予定スケジュールであります、先ほど説明いたしましたように、6月に市民・事業所アンケートを実施いたしまして、7月からアンケートの集計、計画骨子案、計画素案等の作成に着手いたしまして、10月ごろに当委員会のほうでその概略的なものを御説明をさせていただく予定にいたしております。そして、12月に参りましてパブリックコメントを実施いたしまして、来年の3月には計画書の完成を見るというような策定をスケジュールで行っておりますので、よろしく願いいたします。

基本計画の策定につきましての説明は以上です。

○委員長（原田素代君） これについてとりあえず御質疑がありましたらどうぞ。

はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） 計画の1ページ目の計画策定の趣旨というところにあるちょっと読んだことがないんでお尋ねするんですけど、男女共同参画社会基本法第14条及び11条に基づくというふうなこと、僕も中身を知らないんで一度読んでみたいと思うんですけど、これはもちろん課の方に行けばありますよね。

○協働推進課長（塩見 誠君） はい。

○委員（丸山 明君） 一遍目を通してみたいなあというふうには思いますので、目的とするところが、もっとその教育の中でやるのであれば僕はある程度わかるような気がするんですけど、これ一般のこういう行政として一般の方々に向けてというたら、なかなかどんなふうなことが書かれていて、どんなふうなところが着地点なのかなという感じもして、一遍そういうものを目を通してみたいというふうに思いましたんで、教えていただけたら僕も個人的というか私が見たいということを持ったもんですから申し上げます。そのあたり御案内できる範囲で結構ですので教えてください。

○市民生活部長（新本和代君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、新本部長。

○市民生活部長（新本和代君） 男女共同参画、先ほど言われました基本法の第14条でございますが、これにつきましては、男女共同参画基本計画を勘案して都道府県は男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画を策定しなければならないというふうになっているのが、基本法の第14条でございます。それで、市町村におきましては同じく第14条の3項において、市町村男女共同参画計画を定めるよう努めなければならないという努力義務が課せられております。それが、男女共同参画基本法の第14条でございます。ですから、それに基づいてこのたび赤磐市の第3次の計画を策定するというものでございます。さっき言われた14条につきましてはそういう内容です。

○委員（丸山 明君） そういう内容。

○市民生活部長（新本和代君） はい、はい。

○委員長（原田素代君） 今ある第2次の分を手に入れていただいて、見ていただくとわかると思うので。担当課のほうで。

○委員（丸山 明君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、ぜひご覧ください。

○委員（丸山 明君） ちょっと。

○市民生活部長（新本和代君） はい、これがございますので、この中に基本法から赤磐市の中から全て載っておりますので……。

○委員（丸山 明君） はい、わかりました。

○市民生活部長（新本和代君） また、おいでください。

○委員（丸山 明君） ひょっとしたら僕持ってたかもしれない。

○委員長（原田素代君） と思います。

○委員（丸山 明君） はい、わかりました。

○委員長（原田素代君） と思います。

○委員（丸山 明君） はい、ありがとうございます。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ次に進めさせていただきます。

次お願いします。

○協働推進課長（塩見 誠君） はい、委員長、協働推進課、塩見です。

○委員長（原田素代君） はい、塩見課長。

○協働推進課長（塩見 誠君） それでは、先ほどの次のページの2ページごらんいただければと思います。

6月の議会定例会への提案予定の議案につきまして御説明をさせていただきます。

協働推進課のほうでは一般会計の補正予算（第2号）を予定をさせていただいております。

まず1番目といたしまして、コミュニティ助成事業につきましてであります。これは自治総合センターのコミュニティ助成事業、いわゆる宝くじ助成金であります。この助成のほうの平成28年度分が決定をいただきましたので、それに伴います補正という形を考えております。歳入、歳出とも640万円の補正でありまして、今年度では3地区のほうで補助金の決定をいただいております。中ほどの歳出の項目の中の中ほどでございます、山陽4丁目町内会が150万円、桜が丘西3丁目町内会250万円、惣分区が240万円という形の中で、合計640万円の補助金の決定をいただいております。

以上がコミュニティの関係になります。

2ページの下に参りまして、2といたしまして、協働のまちづくり事業の推進の事業でございます。これは年度当初予算で地方創生新型交付金を財源として国庫補助を計上いたしておりましたが、今回この事業が補助金の対象外になったということで、74万1,000円の財源更正をこの6月議会をお願いするものであります。

以上、協働推進課からは2つの補正予算につきまして御説明をさせていただきました。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

一応これは御了解をいただくという案件になりますので、よろしく申し上げます。

そうしましたら、次をお願いします。

○社会福祉課長（国正俊治君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） 保健福祉部のほうの資料をお開きいただきまして、1ページをごらんください。

私のほうからは、年金生活者等支援臨時福祉給付金について進捗状況を御報告いたします。

まず1番の事業目的につきましては、「一億総活躍社会」の実現に向け賃上げの恩恵が及びにくい低年金の受給者へ支援をするものとして行われるものです。

具体的に今回の給付金につきましては、27年度の昨年度の簡素な給付金の対象者のうち今年度中に65歳になる方につきまして、お一人当たり3万円をお配りするということでございます。申請の期間としましては、5月9日から8月9日の3カ月間としております。最初の支給開始を5月27日からできるように今手配しております。5番目の申請状況なんです。これは5月9日から5月13日の1週間の申請の状況でございます。申請件数は1,394件、対象者にしましては1,849人の申請となっております。それぞれ36.8%、38.5%ということで、1週間で対象と見込まれる方の約3割が申請なされたという状況でございます。第2週目も、1週目ほどではございませんけどたくさんの申請が出ております。順調に申請が出ているものと思えます。

以上、年金生活者等支援臨時福祉給付金についての御説明です。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、どうしましょう、これについてということで1つずつ区切りましょうか。

継続中の事業の報告ということですが、特段御質疑はありませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、次の2ページをお願いします。

○子育て支援課長（国定信之君） はい、委員長、子育て支援課、国定。

○委員長（原田素代君） はい、国定課長をお願いします。

○子育て支援課長（国定信之君） それでは、子育て支援課から赤坂地域保育園統合事業の進捗状況について説明させていただきます。

資料は2ページからになります。

赤坂地域の統合保育園の建築工事についてですが、5月18日に入札の参加資格を建築一式工事、一般競争入札ということで、共同企業体という参加条件をつけまして、来年の3月31日までを工期として報告を行っております。今後、こちらの資料にありますように進めていきまして、6月15日に開札の予定となっております。なお、契約金額が1億5,000万円を超えることから議会の議決が必要となりますので、6月28日の最終日になりますが上程議案として提出をさせていただき予定ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、保護者説明会の実施結果について御報告をいたします。

今回、工事の進捗状況や園舎の設計内容、また認定こども園としての運営計画案について、保護者の意見をいただきたいということを目的に説明会のほうを開催いたしております。参加実績等につきましては資料のとおりでありまして、笹岡保育園については参観日が4月に実施されたことから、少しお迎えのときに行いましたことで人数が少ないんですが、石相、軽部につきましては、参観日の日に実施させて保護者の方に説明をして意見をいただいております。

3ページをごらんください。

当日説明しました運営の基本事項であります。これにつきましては保育園の関係者でありますとか、また保護者の意見のほうをもとに、認定こども園の基本的な運営事項を取りまとめておりますので、簡単に説明させていただきます。

名称につきましては、赤坂こども園と今仮称にしておりますが、これにつきましてはこれから公募を実施して愛称のほうを決めていきたいと考えております。

飛ばしまして、開設日については、29年4月1日を目指して現在進めております。

対象年齢というふうにありますますが、幼稚園部につきましては、3歳から5歳児、保育園部につきましては、生後3カ月から小学校の就学前ということで設定をしております。これは現行の石相の状況でありまして、他の2園は現在2歳からということなので、拡大されるというこ

とになります。

定員につきましては、幼稚園部が一応10人相当、それから保育園部が80人相当ということで、合計90人を設定をしておりますがこの内訳につきましては、弾力的にやطيعけることができます。

それから、開園時間につきましては、幼稚園部のほうが月曜から金曜日の9時から2時、それから保育園部のほうは月曜から土曜日の午前7時から午後7時までということで、これは現行の石相保育園になりますので、他の2園につきましては開園時間のほうが拡大されるということでございます。

通学区域ということにつきましては、幼稚園部、保育園部とも区域の設定のほうはございません。

それから、休園日につきましては、幼稚園部のほうは一般的な幼稚園と同じような休みになりまして、夏休み、冬休み、学年末、いわゆる春休みということで設定をされております。保育園部につきましては、日曜、祝日と年末年始ということでしております。

利用料につきましては、幼稚園部のほうは現行の幼稚園の料金であります現在のところ3,900円、8月はいただいております。給食費につきましては、おやつ代を含んで4,000円程度になろうかと思ひます。それから、保育園部につきましては、現行、市で定めた保育料とこれには給食費、おやつ代を含んでおります。に設定を考えております。

続きまして、4ページに参りまして、特別保育事業ということにつきましてまとめております。

幼稚園部につきましては、預かり保育ということで、現在他の一部の幼稚園でやっております保護者の入院とか災害事故等の継続的でないもの、非継続的なものということで、特別な理由ということで行っておりますが、これを2時から5時まで実施する予定でございます。保育料は400円を想定しております。それから、保育園部につきましては、従来から石相保育園で行っております一時預かり事業、それから延長保育事業等につきましては行いまして、また下の病児保育事業というのが、今回新しく始まりますもので、これにつきましては対象児童がこの保育所に通所している児童でありまして、保育中に微熱などが出たということで、体調不良になった園児を親の方が迎えに来られるまでの間、安静を保てるような場所で看護師が対応するというので、これが定員2名程度ということで設定しておりますが、この新しい事業を始めようということ考えております。月曜から金曜日の8時半から5時半を想定しております。これに係る利用料の負担金のほうは、特にことはいただかないということで始めていこうというふうに考えております。

その他、子育て支援活動ということで保育園に通われてない方を対象とした事業のほうも実施して行くということでございます。

最後に保護者会につきましては、幼稚園部と保育園それぞれでつくるという形も見られるん

ですが、一体化を図るということで一つの保護者会を設置して行うということで計画をしております。これにつきましては、保護者の方から特に御意見のほうはなかったということで、おおむねこの基本的なことを決めまして、これから細かいことを決めていきたいと考えております。

それから、2ページのほうに戻りまして、最後に地域説明会の開催予定について説明します。

保護者の意見をお聞きしたということで、これから地域の方々へ進捗状況であるとか、運営内容につきましては、6月11日と14日に2カ所、夜になりますが説明会のほうをさせていただこうと考えております。

以上、赤坂地域保育園の統合事業についての説明とさせていただきます。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

委員のほうの皆さんから何か御質疑がありましたらお願いします。

はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君） 3ページの保育園の定員ですが、90人定員ということで最初やるんですけど、現状は何人おって、もしこれがふえた場合には何名までの定員になるかという説明をお願いします。

○子育て支援課長（国定信之君） 委員長、子育て支援課長、国定。

○委員長（原田素代君） はい、国定課長。

○子育て支援課長（国定信之君） 現在の3地域の保育園に通っている人数ですが、4月1日現在で80人ということで聞いております。どこまでこれをふやせるかということでございますが、施設的には120名程度の施設の規模にしておりますので、保育士の補充とかも必要になりますが、そのあたりまでは対応できる形になっております。

○委員長（原田素代君） ほかにありませんか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあないようですので次お願いいたします。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい、委員長、健康増進課、谷名。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長お願いします。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 済みません、それでは5ページをお願いしたいと思います。

5ページには、あかいわ健康・急病相談ダイヤルについての昨年度の実績をまとめましたので御報告させていただきたいと思っております。

10月から始まった健康相談ダイヤルですが、半年間、6カ月間のまとめです。

相談があった方が、1番の相談内容を見ていただきますと、一番下の合計のところには総相談数が879件でございました。多い順に並べております。一番多いのは、気になる身体の症状に

関する相談ということで215件ありました。次に、ストレス、メンタルに関する相談というふうに見ていただけたらと思います。

こういった形で実績をまとめたんですが、赤磐市の特徴といたしまして、一番端に全国っていうのがあると思いますが、全国の比率のあたりと比較して見ていただきまして、2番目に書いてあります、ストレス、メンタルに関する相談っていうものが非常に全国と比べたら多かったかなというふうに思っております。それから、2番目の全相談件数の累計ですが、これは相談者の年齢で多かった順にまとめております。見方としましては、1番の相談内容と同じように見ていただけたらと思いますが、50代が一番多かった、次30代というふうに見ていただけたらなと思います。

それから、次の(2)の相談対象者年齢ですが、相談をされた方は1番なんですが、誰の相談をしたかということで相談対象者の年齢を上げております。一番多いのは50代、次が幼児、60代といった順番でした。

次のページを開いていただきますと、3番、受付時間別ということでまとめてみました。

やはり受付時間は、18時から19時というような時間帯が一番多く、次が20時から21時ということでおうちに帰られて、ほっとしたような時間が多いのかなというふうに思っております。これは全国と比較しても、大体同じような時間帯が多いのかなというふうに思いました。

それから、4番目の診療科目別なんですが、順位といたしまして一番多かったのが小児科、それから内科、心療内科というような順番でございました。

以上、簡単ですが説明を終わりたいと思います。

○委員長（原田素代君） 総論的な説明なんですけど何か御質問ありますか。

総括的に、谷名課長から見てやったことによる、メリット、デメリット、それから今後の課題、その辺をまとめていただけます。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 失礼します。非常に喜ばれたのは救急のところ、赤磐市の場合、消防署と連携をとったということで、内容によったらすぐに消防署のほうで救急車を呼んだ方がいいなっていうのも何件かございまして、それですぐ転送をかけて消防署の方に状況を説明して、すぐに行っていただいたというようなことが非常に効率的でよかったということと、それから今まで夜相談する機関とかがないので、小児とかというのは特に夕方から夜に急に発熱をしたりして、初めての熱のときなどはお母さんがすごく不安に思うようなことが多いんですが、そういうときも消防署に電話がかかることが多かった。消防署の方がいろんな相談機関を紹介してたというような実情が今まであったんですが、この健康相談ダイヤルをしたことによって、消防署のほうも、こういったところがありますよということで、啓発を進めていって、私たちの啓発以外にも消防署の方が積極的に啓発を進めていってくださったというこ

とで、消防署へのそういった簡単な問い合わせと申しますか、そういったことが非常に少なくなってきたので、本来の消防署の救急業務というところに、非常にいい影響を及ぼしたというふうに感じております。

今後もしばらくの間は様子を見ながら、どういうふうに展開するかということで続けていきたいなというふうを考えております。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

そういう総括ですが、よろしいですか、ほかに御質疑は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） そうしましたら次お願いします。

○子育て支援課長（国定信之君） はい、委員長、子育て支援課、国定。

○委員長（原田素代君） 国定課長。

○子育て支援課長（国定信之君） それでは、資料7ページになります。平成28年度赤磐市一般会計補正予算（第2号）について子育て支援課のほうから説明をさせていただきます。

既に委員会のほうでも御報告をさせていただいておりますとおり桜が丘東地域の保育事業に対応するために、桜が丘東3丁目の市有保育園地におきまして、社会福祉法人岡山こども協会さんが運営を行う認定こども園の施設整備を支援するために、今回補助金のほうを計上させていただくものであります。

先日5月18日に周辺の地域住民を対象とした説明会が開催されております。この中で、定員90名、鉄骨造2階建、781平米の園舎を来年2月末ぐらいまでに建設いたしまして、平成29年4月1日から幼保連携型の認定こども園として開園する計画が示されました。

補助金につきましては、国の保育所等整備交付金の制度に基づきまして、国庫補助金につきましては基準額の3分の2の1億6,485万7,000円を歳入予算に、それから12分の1に相当します市分が1,373万8,000円というふうになりまして、合わせた金額を歳出予算の1億2,364万3,000円という歳出予算のほうに計上させていただきまして補正予算をさせていただきたいと思っております。

以上、簡単ですが、子育て支援課から補正予算の説明とさせていただきます。

○委員長（原田素代君） これも予算の部分ですので、特段御質問がなければ。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、その他にありますか。

○子育て支援課長（国定信之君） はい、委員長、子育て支援課、国定です。

○委員長（原田素代君） はい、国定課長お願いします。

○子育て支援課長（国定信之君） それでは、子育て支援課から、子育てキャラバン隊 in 赤

磐というもので、お手元のほうにカラーのチラシのほうをお配りしております。これについて説明させていただきます。

この子育てキャラバン隊事業というのは、山陽新聞社会事業団のほうが主催ということで、この事業団のほうで地域社会全体で子供を育み育てる環境づくりの一助にするということで、山陽すこやか寄金というのを設立されておまして、その寄金の浄財を使いましてこのような事業を実施するものであります。赤磐市、岡山県共同募金会、山陽新聞社の共催で開催をするということでございます。

チラシに書かれておりますように、開催日時は6月26日の日曜日、午後1時から4時までということで、中央図書館の多目的ホールで行います。参加料のほうは無料でして、事前の参加申し込みも不要になっております。

内容につきましては、特別講演として旭川荘の理事長の末光茂先生による「私の子育て論」という講演がありまして、その後市内の子育て支援に取り組むNPO、幼稚園、保育園の3人の方に発言者となっていただきまして、家庭や地域社会での子育てのあり方、かかわり方について参加者の方と一緒に考えるパネルディスカッションを計画しております。こちらについてはチラシを配布しまして幼稚園、保育所等へ配布します。それから、ホームページのほうへ掲載するとともに、山陽新聞社会事業団のほうにおいては山陽新聞紙上で1週間ぐらい前から掲載記事を掲載するというふうな予定になっております。

都合がつかれましたら、ぜひ御参加のほうをお待ちしております。

以上、簡単ですが、子育てキャラバン隊のする説明といたします。

○委員長（原田素代君） あとありましたら。

○保健福祉部長（石原 亨君） あと3件あります。

○社会福祉課長（国正俊治君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長お願いします。

○社会福祉課長（国正俊治君） 申しわけございません、口頭説明で3点簡単に。

あかまつ荘の工程のこと、買い物支援の状況、それから熊本の義援金の状況について、簡単に御説明したいと思います。

まず、あかまつ荘のことですが、工事スケジュールにつきまして現場のほうと詰めてございます。適正工期5カ月でございますので、9月から1月の5カ月間を工期とするということで現場との調整をしております。予定している金額でいきますと、一般競争入札になりますので、8月8日の開札、入札日となるように段取りをしてまいりたいと考えております。

まず、あかまつ荘については以上です。

続きまして、買い物支援・見守り事業についてでございます。

本日もちょうど吉井に行く途中で夢百笑さんのちょうど見守りカーの商品を積んでいるところを見ていただいたと思います。小野田ふれあい市場さん、まちづくり夢百笑さんどちらも四

苦八苦しなからですけど、頑張ってくださっております。

現在の利用決定の状況でございますが、小野田ふれあい市場のほうで20名、それからまちづくり夢百笑さんが26名、これは4月の数字でございますので、その後もふえているとは思いますが、それぞれ20名、26名ということで利用決定をしております。

小野田さんのほう、4月の見守りの実績です。実人数で15人で65回ということでございます。まちづくり夢百笑さんのほうにつきましては、実際の販売ができていたのが連休明けからなので、4月の実績としてはまだ上がってきておりません。今後はどちらも徐々に広がっていくものと思います。

以上、買い物支援の関係でございます。

3点目でございます。熊本の地震災害の義援金の受け付け状況でございます。

市内、市役所、支所、出張所の6カ所に義援金の受付窓口のほうを設置しております。

4月18日に設置しまして6月30日までの予定で、5月23日現在、今週の月曜ですけど、集計で総額で約205万円余り、正確にいきますと205万2,656円、約一月間で205万円の義援金が集まっております。日本赤十字社に直ちに送金をいたしまして、一刻も早く被災地に届くようになることを願っております。また、この義援金の御協力いただいた内容につきましては、1週間ごとにホームページのほうを更新させていただきまして、このくらい集まりましたっていうのはホームページにて、市民のほうに周知させていただいております。

以上、口頭で申しわけありませんが、3点について御報告いたしました。

○委員長（原田素代君） 皆さんのほうから御質疑がありましたら。

ないですか。

○副委員長（福木京子君） ないようですので

○委員長（原田素代君） はい、福木委員どうぞ。

○副委員長（福木京子君） 義援金関係で、何か保健師さんを県のあれでそれぞれ分けて何人か派遣するか何かというのが市長からあったけど。その関係は現在どうなっているんですか。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 済みません、保健師の要請は依頼のほうで県からあったんですが、結局落ちついてきたということで5月いっぱいぐらいで県のほうも派遣のほうをストップするというので、市にはもうよろしいですからというような文書が来ました。

はい、以上です。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（原田素代君） ほかにありますか。

一つ私もお聞きしたい。買い物支援、小野田さんのほうと夢百笑さん、仕入れ先っていうのは。もう一度教えてください。

○社会福祉課長（国正俊治君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） まず、小野田ふれあい市場さんは、これもこちらが指定しているわけではないんですけど、Aコープ熊山店さんと組んでおられます。

○委員長（原田素代君） はい。

○社会福祉課長（国正俊治君） それから、まちづくり夢百笑さんは、店舗販売の仕入れは備前の市場とされているということを以前から伺ってまして、それに加えて、津山を中心に鳥取、岡山でスーパーを展開されているマルイさんとお話できたようで、マルイさんの商品をお届けするというようなことで、調整がついていると伺っております。

以上です。

○委員長（原田素代君） わかりました。

その他のほうは皆さんのほうから、じゃあよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） 執行部のほう、その他もうよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） 委員の皆様の方で何かございましたら。

一つきょうたまたま仁美に寄って気がついたんですけど、仁美診療所のドアをちょっといっぱい張り紙があったんで、のぞいたら、あそこは火、金の午後だけが診療所としてあけてくださっているようですが、張り紙によると5月の4回の火、金が全部休診と書いてあったんですね、だからほぼ5月中は仁美は先生が来られてないんだなと思ったんですけど。何か特別な事情は聞いてますか。

○保健福祉部参与（岩本武明君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、岩本参与。

○保健福祉部参与（岩本武明君） 仁美診療所につきましては、笹岡の森先生のほうに行っていると思いますが、ちょっとそこら辺の詳しい……。

○委員長（原田素代君） 聞いてない。

○保健福祉部参与（岩本武明君） お休みの事情を、こちらのほうは把握しておりませんが、申しわけございませんけどちょっとお答えが……。

○委員長（原田素代君） きょう現在の張り紙によると、5月の火、金、火、金、4回が休診でございますと書いてありました。事情がわからないようなので調べてあげてください。地域の方がどうされるのかなと思いました。

それでは、皆さんのほうからないようですね。

ちょっと、市長が戻られると聞いたんですけど。副市長、来る予定ではあったんですか。

○副市長（内田慶史君） はい。

○委員長（原田素代君） ああ、ちょっと早かったんですね、委員会がね。済みません、スムーズにいき過ぎまして。

私のほうからちょっと副市長にお尋ねをしたいんですが、委員会とは別ですから、その他なんですけど。昨日映画の試写会があったということを知り、どうなっているんだと。いろいろ細かくその方調べられて……。

○副議長（岡崎達義君） 委員長、閉じてからにした方が。

○委員長（原田素代君） いや、その他でお尋ねしとかなないと。

○副議長（岡崎達義君） 厚生委員会は関係ないと思いますよ。

○委員長（原田素代君） そうしますか。

何か市長から御説明があつてしかるべきかなと思ったんで。

じゃあちょっと終わりますね一度。その後じゃあ教えていただきましょう。

○副市長（内田慶史君） ちょっと済みません、きのう私……。

○委員長（原田素代君） あ、わかんない。

○副市長（内田慶史君） 試写会のほうへは行ってないんで、別の会議がございまして。

○委員長（原田素代君） ああ、そうですか。

○副市長（内田慶史君） 何でしたら、担当職員のほう。

○委員長（原田素代君） また、終わったからじゃあ。市長がもしかしておいでになるのかもしれないし。

○議長（金谷文則君） ちょっと委員会を閉めよう。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○副議長（岡崎達義君） 厚生委員会だから、そりゃあもう。

○委員長（原田素代君） あえて申したのは、委員会でも、委員会の皆さんにも一応お伝えしといたほうがいいような案件かなと思ったので、あえてお聞きしようと思っただけです。

じゃあ、副市長のほう終了の御挨拶をお願いします。

○副市長（内田慶史君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、お願いします。

○副市長（内田慶史君） 本日は第5回の厚生常任委員会ということで、6月議会に提案予定の議案、また平成28年度の事業の進捗状況につきまして協議をいただきまして、まことにありがとうございました。平成28年度におきましては、第2次の総合計画等々実行していく大事な時期でございます。今後、人口減対策や地域活性化等々赤磐創生に向けてしっかりと執行部のほうも取り組んでまいりたいと思いますので、委員皆様方の御意見、御提言を今後とも賜りますようよろしくお願いをいたしたいと思っております。

以上でございます。本日は大変ありがとうございました。

○委員長（原田素代君） ありがとうございました。

これで第5回厚生常任委員会を終了いたします。

午後1時42分 閉会